豊庄だより

第 517 号 2018 年 5 月 28 日

福岡市早良区南庄２－２６－１３
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長　西尾　達

「4 月から豊庄保育園に来ています。子育てと仕事の両立をと、頑張っているつもりなのですが、（子どもが）先週は熱を出してしまい、しばらく休んでしまいました。これが保育園か～って思っています。でも、今日の誕生会で、泣くことなくステージに上がっている姿を見てうれしかったです。」「この 1 年間でとても成長しました。言葉もたくさん出るようになりましたし、よく歩くようになりました。そのためでしょうか、家に帰ると、夕食を待てずにお菓子を食べる癖がついて・・・。困っています。」「保育園に入った 2 年前は、熱を出しては休んでばかりいましたが、今はとても元気です。困ったことと言えば、家で食事をする時、きちんと座らず、全く親の言うことを聞いてくれません。そのたびに、鬼が出てくるよと言ったりしているのですが・・・。」「4 月から仕事に復帰し、二人の子を預けています。楽しく元気いっぱいなのですが、友だちと衝突しているのではないかと心配しています。親に甘えたいという気持ちでいるのはよくわかるのですが、余裕のない生活で・・・。もっとスキンシップをしないといけないのでしょうね」「土、日、祝日も仕事のことが多く、祖父母に見てもらっているのですが、そこでiPadを触るようになり、困っています」

紹介したのは、4 月誕生会後の参加者による懇談会で、「最近の子どもさんの様子や困ったことがあればどうぞ」という保育士の問いかけに発せられた声の一部です。困ったことについては、保育士も答えますが、参加した先輩のお父さん、お母さんからも、毎回これまでの経験からとても参考になるアドバイスがあります。私もこのやり取りを聞きながら、「なるほど」といつも思っています。あっという間に、1時間ちかくが過ぎてしまうことがしばしばで、こうしたやり取りを全体でできないだろうかと考えて始めたのが、皆さんに参加を呼びかけました「わが家の子育て奮闘記を語ろう会」の発表者の募集でした。今年も実現できれば 3 回目になるのですが、残念ながらこのたよりを書いている 24 日現在で、応募が全くありません。5 月中には発表してくださる方を確定したいと思っています。応募、待っています。クラス 1 人ずつと考えていますが、できれば、今年初めて保育園にお子さんを預けられた方から、超ベテランの方まで出て下さればと思っています。現在育休中の堀内先生に、「今年も『語ろう会』をするんだけど、今年、応募がゼロなんだ。だからというわけじゃないんだけど、あなたの今の気持ちをメンバーの一人として出て話してみない？」と声をかけました。すると、快くOKの返事をいただきました。保育士として、また、保育園に初めて子どもを預ける保護者の一人としての話が聞けるのではと楽しみにしています。※2 枚の写真は、2016 年と 2017 年の時の様子です。